

新年明けましておめでとうございます

輝かしき 2017 年の年頭にあたり謹んで新春の御挨拶を申し上げますと共に皆様には御健勝にて良き新年をお迎えのことと御慶び申し上げます。昨年中は私達 NPO 法人山脈、並びに当法人が運営する障がい者福祉事業に対し、皆様方の温かい御理解と御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、一昨年暮れ強行採決された「安保法制」のもと、沖縄でのヘリポートの強引な建設、更には戦後初めて「殺し殺される」ことが現実にかかる南スーダンへ「駆付け警備」として自衛隊を派兵するなど、再び「戦争のできる国」へと押し進められています。また、TPPの批准、年金カット法、カジノ法案の強行採決、更には東日本大震災から6年が経った今も多くの人が被災し故郷へ帰れない状況下での原発の再稼働など信じられない施策が次々に行われた年でした。

私達の生活にとって切実な教育・医療・福祉分野においては、介護保険の見直し、生活保護の切捨て、年金カット法など憲法で保障されている国民の生活が脅かされています。また、社会福祉法人法の改正をはじめ、自助共助が叫ばれる一方で社会保障に関する公費削減など国の責任たる公助の後退が進められています。

また、昨年は相模原市やまゆり園で19名もの障がい者の方々が殺害されるという事件が発生しました。障がいがあっても人間として尊重され生きる権利を有することが当然であり、この犯罪は絶対に許されるものではありません。二度と再びこのような惨劇を起さないことを願います。この犯人が、精神科の措置入院歴があり、その犯行動機が障がい者を排斥する危険な優生思想によるものだったことで私達は障がい者福祉に携わる者として大きな不安を感じました。それは格差競争社会と呼ばれる時代において、障がい者等の社会的弱者と呼ばれる人達を社会から排除すべきとする優生思想が世の中に蔓延するのではないかという危惧であり、また、再発防止を図るために精神障がい者に対する措置入院が見直され、再び管理主義的な隔離政策が強化されるのではないかという懸念です。そして、この事件が障がい者の地域生活移行に歯止めとならないことを願っています。

我が国の障がい者施策は、「障害者権利条約」の国会による批准、「障害者差別解消法」の施行等により追い風が吹き始めました。私達はこの推進力となるよう微力ながら活動を続けて行きます。

このような激動の1年ではありましたが、当法人は皆様方の温かい御指導、御支援を頂き、一步一步事業を拡大発展することが出来ました。

昨年4月には待望のグループホーム「ハーモニーやななみ6号」(定員7名)を新設しました。また、日中系サービス事業所としても昨年10月、高崎市金古町に多機能型福祉サービス事業所「ワークハウスみやま」(就労継続支援B型10名・生活訓練10名)を開設しました。現在、全事業所全体で、100名程の障がい者の方にご利用頂いています。

私達の福祉事業は多くの方々の御理解と御協力を頂き、地域の皆様に支えて頂けることが何よりも大切です。今年も初心に戻り、決意新たに事業の着実な前進とより良いサービスの向上を目指し、役職員心ひとつに頑張る所存でございます。皆様方の御指導、御力添えを賜りますよう御願いを申し上げ、新年の御挨拶と致します。(賀状にかえて)

平成29年元旦

特定非営利活動法人山脈

理事長 笹澤繁男 役職員一同

平成 28 年度特定非営利活動法人山脈職員研修を終えて

11 月 26 日(土)、伊香保温泉岸権旅館を会場に平成 28 年度特定非営利活動法人山脈の職員研修が行われました。毎年、研修実施後は、研修の余韻が残っているうちに感想のレポートを参加者には提出してもらっています。

早速、12 月に入り職員からレポートが集まってきました。1 部の障がい者福祉施設における職員の在り方をテーマにした明清会の小暮理事長様と生活相談員の鈴木様の講演については、事業の規模が拡大し大勢の職員を抱えるようになった山脈と同じような環境にある明清会の取組みから利用者さんとの関わりについて、初心に立ち返ることができたという声が多く寄せられました。

また、2 部のこれからの山脈をどんな福祉事業所にしたいかというテーマで行われた初めてのグループ討議では、普段、顔を合さない他部署の方達と山脈のいい所や悪い所を話し合う中で、意識共有をするために「報告・連絡・相談」の大切さを再認識したという声が多かったようです。

研修を振り返ることで研修の意味が更に深まります。今後も職員の意見を取り入れながら内容の濃い研修を実施したいと思います。

吉岡町保護司会・更生保護女性会の慰問を受けました！

12 月 8 日(木)、吉岡町保護司会様、更生保護女性会様の慰問を受け、利用者さんにお菓子の寄贈、そして、慰問金を頂戴しました。こうした地域の方々の御理解と御協力を得て、当法人の障がい者福祉事業もこれまで大きく成長させて頂きました。誠にありがとうございます。

これからも地域の障がい者の方々が生き生きと生活できるよう支援をして行きたいと思えます。



冬の避難訓練・消火訓練を実施しました！

12 月 12 日(月)、みやま工房、キッチンハウスみやま、ハーモニーやまなみ 2 号の合同による避難訓練及び消火訓練を実施しました。当法人で年 2 回の避難訓練及び消火訓練を実施し、火災や地震などの災害時の対応について確認を行っています。

今回は、消防署職員の方々の協力を頂き、避難時の留意点や消火器の使い方について教えてもらいました。



麦のゆめ、手作りパイの販売を始めました！

毎年、冬季限定の商品として人気の「麦のゆめ手作りパイ」の販売がいよいよ始まりました。

麦のゆめの手作りパイはパイローラーを使って、ふすま入りのパイ生地から作っています。沼田産の紅玉がいっぱい詰まったアップルパイ、みやま工房の畑で採れたさつま芋を使ったスイートポテトパイの2種類があります。寒い季節は温めてホットパイで食べると更に美味しいです。

榛東村の「榛東ふるさと公園」の売店でも購入できます。また、注文販売も受け付けていますのでお問い合わせ下さい。



注文書



アップルパイ



スイートポテトパイ

バンタインデー・ホワイトデー用ラスク詰合せの注文を承ります！

今年のヴァレンタインデー、ホワイトデーは、麦のゆめのラスク詰合せセットでいかがですか？大切な人への贈り物として、是非、麦のゆめのラスクのギフトセットをお使い下さい。

ご購入を希望される方は、麦のゆめまでご連絡下さい。下記の写真と実際の商品は包装が異なります。



榛東ふるさと館内の麦カフェにて絵画等の展示をしています！

榛東村ふるさと公園内にある榛東ふるさと館の喫茶コーナー「麦カフェ」の壁を利用して、榛東村で絵画などの文化活動をされている団体様の作品展示を行っています。今月は児童発達支援事業所・放課後等デイサービス「スマイルハウスにこちゃん」を利用している子供達の作品が展示されています。



レクリエーションのご案内

絵画教室

日時：1月18日(水) 14:00~15:00
場所：みやま工房 事務棟 2階 会議室
今後は絵画だけでなく手芸など教室の内容を広げていきますのでお気軽に参加して下さい。



法人からのご案内

こころの健康相談

1月の「こころの健康相談」は下記の日程で行います。相談を希望される方は、事前に予約が必要です。職員までお申込み下さい。

日時：1月27日(金) 11:00~12:00
場所：みやま工房 2階 会議室
担当者：柳沢温子先生（田中病院勤務）

グループホームの入居者募集

グループホームに若干の空き室ができました。グループホームの入居を希望される方は、下記までお問い合わせ下さい。見学も随時受けています。

電話：0279-54-2947
担当：田代(グループホーム管理者)

新年度(平成29年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

NPO 法人山脈のメールアドレスが新しくなりました！

法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます！

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設 就労継続支援 B型事業所「みやま工房」

就労継続支援 B型事業所「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労継続支援 B型)ワークハウスみやま

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)